

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		2024年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しみにしてくれている利用者が多いこと	楽しい気持ちでまた来たいと思ってもらえるような支援内容を取り入れながら、保護者様も利用者も満足できるよう会話の機会を大切にしている。	不満に思う機会を最小限にするためにも、時間での区切りや入れ替えの時間のスムーズさを改善していく。
2	相談員や保護者様との情報共有ができています	相談員や保護者との対話を大切に、どんな小さな話でも大切にやり取りをしている。	今後も話す機会を設け、その時間を大切にしながら、やり取りを多く行い、相談員や保護者様とも綿密に関係性を構築していく。
3	利用者のしたいことにできる限り応え、得意なことややりたいと思う気持ちを伸ばし、苦手なことを補えるように支援している	利用者の意見をしっかり聞いてできる限り対応をしていく。また、支援中には準備が難しいものがある場合は次回準備することを約束し、職員間でも話し合い行っていた。	利用者の意見を大事にしながらいきたいことや、興味のあるものを楽しみ、いろいろな活動ができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援前後に職員間での打ち合わせ、支援の振り返り等を行う場を作るとともに、利用者が満足できる活動内容に合わせた部屋割りも相談できるようにしていく。	支援がない時間があまりないことやそれぞれの職員が支援準備、他作業に追われている。作業一つ一つを簡素化させながら必要な業務とそうでない業務の取捨選択をして、業務負担を減らし、ミーティングや話し合う時間を作っていく。	支援がない時間があまりないが、常に翌日の状況も把握しながら、何時にミーティングをするかを事前に決める。また、ミーティング内容を明確化し、短時間でも必要なことを伝えあえるようにしていく。
2	ヒヤリハット等事業所内で起きた事項について再発防止に向けた対策を全職員が周知し検討する必要がある。	ヒヤリハットや事故などの判断基準がそれぞれ異なり、個室での支援ともなるので、それぞれの職員が、報告の必要なしと感じた事象については話し合う機会を設けることができない。	ヒヤリハットや事故は起きないに越したことはないが、起きてしまっても隠すことなく、全員が把握できるように書類作成とミーティングでの報告を徹底する。また、個室での1対1の支援を減らし、他者の目を常に感じられるよう支援等にも変化をさせていく。
3	保護者間での交流(ファミカフェや親子イベント)する機会がない。	運営安定のための契約や個別定期の確保を優先に行ってきた。	ファミカフェの実施や親子イベント企画、校舎外に出でのイベントなどを来年度は積極的に行いながら、保護者様同士の交流する場を設けていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校
------	------------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024/12/1現在 36名

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17		1		とても広い	室内の整理整頓を行い、活動に合わせて部屋割り等を考慮していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	1			1対1での対応を基本としたうえで、職員の配置には十分に気を付けていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3		2		玄関やトイレ、洗面台などの位置がわかるように今後壁面の工夫などを行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17		1		清潔感がある	清掃を毎日行いながら、長期休み前には職員全員で大掃除を行っています。今後も掃除や喚起といった清潔に保つ方法をとってまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1				モニタリング、計画等を保護者様としっかり話し合ったうえで、支援を行っているよう今まで以上に保護者様との関係性作りを行っていきたく思います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			1		それぞれの職員が、それぞれの利用者に合わせた活動を行えるよう考えております。また、利用者のニーズに合わせてプログラム作成を進め、一人一人に配慮できるよう職員一同考えてまいります。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	3	9	・無理に地域の子どもとの関わりを持つ必要がない	地域との関わりについては必要性を感じない方や交流をしてほしいと思っている方それぞれだと思うので、事業所独自でアンケートなどを行い今後に活かしていければと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		5		今後ファミカフェの開催やペアレントトレーニングができる職員の育成などを行っていきたく考えてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1				何かあった際には来所時にお声がけをお願いしております。また、支援中にいつもと違う様子が見られた際にはフィードバック時にお伺いしたり、状態を伝え、情報共有ができるようにしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2			・いつもアドバイス等をいただいている	家族支援の周知、モニタリング、計画更新の際には時間をいただいてゆっくりお話ができるよう設定させていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1				活動に対しての要望等をお家で話があった際には保護者様から聞き取りができるよう声がけをしてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	3	8	・保護者同士の交流の機会があってもいいと思う	今後ファミカフェの開催や就労支援や移行支援などの事業所との連携を密にとり保護者向けの会などを行っていきたく考えてまいります。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17				・いつも対応してくれている	近隣校や他事業所などのイベントなどの情報提供を行いながら、事業所内相談の周知を徹底してまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			1		事業所内相談の周知を徹底していきたいです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		個人ファイルの保管方法やSNSでの情報発信等の情報漏洩がないように職員で再度徹底していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			3		毎月防災訓練を行っています。非常事態に備えた訓練を子どもと一緒にできるようにしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		1		家具・教材の点検や危険個所の早期修理に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			4	・今まで事故がなかったのでわからない	ケガや事故があった際には、速やかに保護者への連絡をするともに、必要な対応を行います。また、事故やケガがないように最善の取り組みを行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				・学校の後クラ・ゼミに来るのを毎回楽しみにしている。とてもありがたい	これからも子どもたちが来たいと思ってもらえるように最善を尽くしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18					
	29	事業所の支援に満足していますか。	16		2			フィードバック、モニタリング、事業所内相談等を利用し、密に情報交換をしていながら、支援に対する満足感を上げていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校		公表日 2025年 2月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	指導員は少ないが、支援数を減らさないよう調整を行うことができました。	急な人事異動に伴い規定の人数は確保しているが、よりよい支援を行うための職員配置を増やしていけるよう対応してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		個別支援計画の説明の徹底、また、担当者会議の要点をしっかりとそれぞれの職員が頭に入れて支援ができるようにしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		1対1の支援を基本としつつ、それぞれの職員が得意分野を活かしながらそれぞれの利用者の特性、必要な支援を考え行っています。必要に応じて職員間で情報共有を行っています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	始業と同時に支援が入っていることが多くあるため、支援が入っていない時間を見つけてのミーティングはできる限り行うようにしています。	支援内容などは個々に考え行っているため、必要に応じて内容を共有をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		5		19時終業とともに支援を終了するため、話す時間は作られていないため、今後は11時または13時など利用者が少ない時間をミーティングとしてできる限り決まった時間で話し合いができる場を設けていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		要望があれば、保護者様を通して行っていきたくと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		要望があれば行っていきたくと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		ペアレントトレーニング等ができる職員の育成及び外部イベントの情報等の入手に力を入れていきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		ファミカフェなどの機会を設け、保護者間のつながりを作る場の提供を視野に入れていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			